



**IBARAKI TOYOPET
RACING TEAM**

GR86/BRZ Race 第7戦 ツインリンクもてぎ

**今季ラストレースは予選こそ16番手に甘んじるも
コーナーを力走し、入賞まであと一步の11位でゴール**



TWIN RING MOTEGI

GR 86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズ第7戦

2019年9月14～15日 ツインリンクもてぎ (栃木県)

晴れ 10周 (32台)

予選16番手/決勝11位

ドライバー：中山雄一

レースメカニック：

高橋雄大 (GR Garage つくば)

池戸誉 (GR Garage つくば)

藤咲一仁 (小川野田店)

武井真吾 (筑西神分店)

伊藤友 (ひたち野うしく店)

岡田郁哉 (6号取手店)



IBARAKI TOYOPET RACING TEAMが「GR Garageつくば86R」で中山雄一選手とともに挑む、GR 86/BRZ レース プロフェッショナルシリーズの第7戦がツインリンクもてぎで開催され、今回は1ヒート大会としてレースが行われた。

IBARAKI TOYOPET RACING TEAMにとって、隣接する栃木県のツインリンクもてぎは、まさにホームコース。決勝レースには多くの応援団が集うこととなっており、また中山選手が併せて出場するレースとの兼ね合いで、最終戦には出場できないため、これが今季ラストレースともなる。文字どおり有終の美を飾るため、チームは万全の構えで臨んでいた。

9月も半ばとなり、すっかり秋めいたムードを漂わせるまでになったツインリンクもてぎは、こと金曜日が絶好のコンディションに。練習走行の締めとなる専有走行では、セッション序盤に中山選手が2分17秒999を記録して、その時点でのトップに浮上。後のコンディション向上もあって9番手とはなったものの、トップとの差はコンマ6秒。また、前週のスーパーGTにおいて、GT500で初優勝を飾ったばかりの、中山選手の勢いが保たれているのも確認できたこともあって、本番に向けた期待はさらに高まることとなった。

しかし、予選の行われる土曜日は早朝に霧雨も舞う、不安定な天候となってしまったばかりか、いざセッションがスタートする頃には、雲の切れ間から強い日差しが注がれ、気温、路面温度ともにレースウィーク一番の高さとなってしまふ。中山選手はコンディションの向上を求め、残り5分間から走行を開始。しかし、同じことを考えていたドライバーで、多くが占められることとなり……。

しっかり前後との間隔を保って、1周の ATTACK に賭けた中山選手ではあったものの、著しいコンディションの変化に戸惑い、2分19秒169を記すに留まり、17番手という結果に終わる。その後、上位のドライバ

ーにペナルティが課せられたため、中山選手はひとつ順位を繰り上げて16番手となりました。

「昨日の練習ではすごく感触が良くて、クルマのセットアップは着々と進んでいったので、予選には自信を持って行ったんですが……。ちょっと暖かくなったことと、S耐のクルマが走った後のコンディションに、セットアップと内圧が全部合わなかったという感じでした。昨日感じたフィーリングのままコーナーに入って行ったんですが、全然応えてくれずという感じで、まとめることはできませんでした」(中山選手)

土曜日にはどんよりとした天気も、日曜日になると青空が広がるようになり、秋晴れの好天の下で決勝レースが行われることとなった。まずまずのスタートを決めた中山選手ではあったが、オープニングラップのうちにひとつ順位を落としてしまう。だが、2周目には予選と同じ順位に戻し、さらに3周目にはスタート違反によるペナルティで、2台が順位を落としたことから14番手に浮上、5周目には1台をかわして13番手に上がる。その後は背後にベテランの織戸学選手を背後に置くこととなるが、強烈なプレッシャーに屈することなく周回を重ねていく。

そして最終ラップには、ブレーキが音を上げた車両が一挙に順位を落としたこともあり、11番手へ。最後のストレートで織戸選手に並びかけられるも、1000分の9秒差で逃げ切って、入賞にはあと一步届かなかったものの、5ポジションアップを果たして今季最後のレースを締めることとなった。

「コーナーはけっこう良かったんですが、直線は2速、3速、4速が全然ダメで、出口で合わせていくんですが、離されちゃって。なんでだろうって感じでしたね。コーナーは良くなってきたので、今年1年かけてやってきたセットアップが、どんどんいい方向に行って、いい感触はつかめてきたかな、と思うんですけど、やっぱり全部がうまくいくというのは、なかなか難しいですね。最後は織戸選手がめっちゃ速かったです。なんであんなに速いのって感じで……。僕のレースはこれが最後です。1年間のご声援、ありがとうございました」(中山選手)

最後の中山選手のコメントどおり、これがIBARAKI TOYOPET RACING TEAMにとって、今季最後のGR 86/BRZ レースとなった。決して満足のいくシーズンではなかったものの、初めてトップドライバーとシリーズを戦ってきたことで、チームの実力や意識は飛躍的に高まった。この経験を今後活かしていくことをスタッフ全員が誓っていた。

1年間のご支援、ご声援、誠にありがとうございました。

#18 中山雄一選手のコメント



決勝レース時、コーナーは結構よかったです。直線は2速、3速、4速が全然ダメで、出口で合わせていくんですが、離れちゃって。なんでだろうって感じでしたね。コーナーはよくなってきたので、今年一年かけてやってきたセットアップが、どんどんいい方向に行き、いい感触はつかめてきたかな？と思うんですけど、やっぱり全部がうまくいくというのはなかなか難しいですね。最後は織戸選手がめっちゃ速かったです。なんであんなに速いのって感じで……。僕のレースはこれが最後です。1年間のご声援、ありがとうございました。

チーフメカニックのコメント ～池戸誉（GR Garage つくば）～



いよいよ今期最終戦となるレースウィークに突入し、ドライバーを始め、チームスタッフ全員が最高の結果を求めました。練習走行では徐々にセットアップも進み、まずまずのタイムで予選へ。上位への期待感がありましたが、過去にも起こった予選で調子が悪くなるという状態を改善することが出来ず。シーズン通して芯の部分のもろさが露呈したように感じます。来期へ向けてやるべき事は多いですが、更なる高みを目指せるチームへ成長していきます。最後になりますが、応援して下さいました各関係者の方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。

メカニックのコメント ～高橋雄大（GR Garage つくば）～



今回のレースウィークでも、参加メカニックには普段味わえないサーキットの空気とレースメカニックという、精度とスピードを求められる現場を経験していただき、良い刺激を持ち帰ることができたのではないかと思います。ご参加いただきありがとうございます。各メカの店舗の皆様におかれましても、背中を押していただき心より感謝申し上げます。レース成績は満足いく結果ではなかったですが、来シーズンに向けて課題もたくさん見つけたので改善に取り組み来シーズン更に盛り上がりを見せられるよう頑張りたいと思います。ご声援ありがとうございました。

メカニックのコメント ～藤咲一仁（小川野田店）～



今回レース活動に参加させてもらうにあたり、協力していただいた店舗スタッフの皆様ありがとうございました。またレース関係者の皆様大変お世話になりました。とても貴重な経験を沢山させていただきました。特に空気圧の管理は非常にシビアで、少しの気温、路面温度の違いでタイヤの内圧の上がり方が変わりタイムが大きく変わる事にレースの大変さ、難しさを実感しました。しかし、GR ガレージつくばのスタッフお二人が懇切丁寧に色々教えていただいたのでレース車両のメンテナンス作業などには不安はありませんでした。なのでこれからも沢山のの方に参加していただき今以上に茨城トヨペットのレース活動が盛んになればと思います。

メカニックのコメント ～武井真吾（筑西神分店）～



今回86/BRZレースメカニックとして参加する事が出来ました ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます、今回は2回目の参加だったのですが、1回目の時とはまた違う経験ができ、参加する度にいろいろな事が吸収出来る機会だと思います。レースの事が全然知らない人でも楽しめるチームですので是非参加してみてください。

メカニックのコメント ～伊藤友（ひたち野うしく店）～



今回、初めて86/BRZレースに参加させて頂きました。ご支援いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。私は、レースメカニックを体験することも初めてでなかなか思うように作業ができなかったりどのような動きをすればいいのか戸惑ってしまうところも多々ありましたが先輩方に優しく指導していただきながら普段とは少し違った作業もでき私にとってとても良い経験になりました。これまでレースにはあまり縁のない私でしたがとてもこの世界に興味を湧きました機会があればレースメカニックとして参戦したいです。

メカニックのコメント ～岡田郁哉～（6号取手店）～



8/6 BRZ レースに参加させていただき始めてレースの世界に触れられてとてもいい経験になりました。参加にあたりご支援いただいた皆様、ありがとうございました。
普段のメカニックとレースのメカニックではタイヤの内圧の合わせ方や整備のスピードが全く違ったので驚きました。一人一人が役割を持ち責任をもってその役割を果たす。そして、ドライバーを含め全員でコミュニケーションをとり車を本番に向けて完成させていく。全員で同じゴールに向かっていく感じが楽しかったです！レースの世界でのメカニックは緊迫した中、スピードと正確さ、責任感が凄く問われることがわかりました。現場でもこの三つを心がけて仕事に取り組んでいきたいです！





GR86/BRZ Race

BRIDGESTONE

Racing Development
TRD

PMU

BILLION
OILS

BRIDE